

令和4年度

春入試

茨城大学大学院人文社会科学研究科

入学試験問題

社会科学専攻

令和4年度茨城大学大学院人文社会科学研究所

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（異文化理解・多文化共生研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）問1および問2の全てについて解答してください。

※ 問1は「解答用紙その1」に、問2は「解答用紙その2」に記入してください。

問1 以下に示す用語について、それぞれ具体例を3つ以上挙げて説明してください。

- (1) マイクロアグレッション
- (2) 隠れたカリキュラム

問2 多文化共生の視点から、ダイバーシティマネジメントの現状と課題について、具体例を挙げて論じてください。

令和4年度茨城大学大学院人文社会科学研究所

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（社会意識論研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）問1および問2の全てに解答してください。

※ 問1は「解答用紙その1」に、問2は「解答用紙その2」に記入してください。

問1

次のa)～d)について、それぞれ200～400字程度で説明してください。

- a) 日本社会における階層帰属意識
- b) 「まなざしの地獄」における統計的な事実の実存的意味
- c) ロジスティック回帰分析
- d) 政治的有効性感覚

問2

社会学者・吉川徹が述べる、地位アイデンティティの明確化、伝統-近代主義の無効化、社会的オリエンテーションのコンサマトリー化について、それぞれの内容を説明したうえで、それらの内容を踏まえつつ、自身が大学院で取り組もうと考えている研究の対象もしくは現代日本社会の具体的な事象1つを、社会意識論の観点から分析してください（どのような対象・事象を分析するのか、解答内で明記すること）。

令和4年度茨城大学大学院人文社会科学研究所

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（行政学研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

以下の三問から、一問を選んで解答しなさい。解答の冒頭に、選択した番号を明記しなさい。

- （1）1980年代以降の日本における福祉国家の動向について、1000字程度で述べよ。
- （2）（被災時ではなく）平時における、日本の地方自治体の防災政策について、1000字程度で述べよ。
- （3）政治学・行政学における方法論的個人主義について、1000字程度で述べよ。

以上

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

専門領域名（マーケティング論研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門領域名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問） 次の文章を読み、以下の設問に答えてください。

マーケティング研究においてサービスへの関心が高まったのは、1980年代以降のことである。1980年代後半から、テクノロジーの進歩や生産性の大幅な向上により、産業の高度化と生産の専門化が加速していた。小売のレジにPOSシステムが導入され、どのような製品がどのタイミングで売れているのか、製品を支持する顧客属性にどのような特徴があるのかが検討できるようになったのは、この時期のことである。(a)ワントゥワン・マーケティングといった概念が示されるようになり、特定の顧客に向けた製品の提供方法がないか模索されるようになる。取引や交換に求められるサービスの要素は増えていった。

個別の顧客への対応に関心に向けられるのは、(b)労働生産性の向上があったからである。小売の現場では製品の自動発注やオンライン化が推進されるようになり、店頭での欠品は大幅に削減されるようになったほか、受発注に必要な人員は大幅に削減された。これらの要因から、マーケティングの関心は販売志向から(c)顧客志向に転換していく。当時の経済成長も相まって、消費者の所得水準は高まっていたほか、それに伴って消費ニーズは徐々に変化し、多様化する傾向にあった。これもサービスに関心に向けられる要因だったといえる。

こうした社会背景の変化に応じるようにして、サービスに注目する研究者も増加していった。これが、サービス・マーケティングの研究領域が確立される萌芽期の背景である。特徴的なのは、北欧学派に特徴的な傾向がみられたことであり、特に代表的な存在である Grönroos の主張には、(d)サービス・マーケティング研究を、単に製品のマーケティングに追加して扱うことができるとした知見への反論があった。

設問1 文中の下線部(a)「ワントゥワン・マーケティング」とはどのような意味か、端的に説明してください。

設問2 文中の下線部(b)「労働生産性の向上があった」を具体的に説明している内容を、本文中から抜き出してください。

設問3 文中の下線部(c)「顧客志向」とはどのような意味か、端的に説明してください。

設問4 文中の下線部(d)「サービス・マーケティング研究を、単に製品のマーケティングに追加して扱うことができる」とした知見への反論があった」とは、どのような研究の傾向を指摘したものだろうか。学説による違いを整理して説明してください。

社会科学専攻 入学試験問題 (専門科目)

科目名 (理論経済学研究)

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。(解答はすべて日本語で行うこと)

(設問)

次の (1), (2), (3) に解答しなさい。

(1)

2 期間の消費計画 C_1, C_2 を考える。

次の予算制約が成り立ち、

$$C_1 + \frac{1}{1+r} C_2 = Y_1 + \frac{1}{1+r} Y_2, \text{ 第 1 期, 第 2 期の所得をそれぞれ } Y_1 = 17, Y_2 = 6 \text{ とする.}$$

2 期間の効用関数が次のとき、最適な貯蓄はどれだけか。

$$U = \ln C_1 + \frac{1}{1+\rho} \ln C_2.$$

ただし、 \ln は自然対数を表し、その微分について $\frac{d}{dx} \ln x = \frac{1}{x}$ が成り立ち、 ρ は時間選好率を表わす。また、貯蓄の利子率は r であり、 $\rho = r = 0.2$ とする。

(2)

生産集合が次で示されるとき、供給関数を求めなさい。ただし、財 x と財 y の価格をそれぞれ p_x, p_y とする。

$$\{(x, y) | x \leq 0, 0 \leq y \leq \sqrt{-x}\}.$$

(3)

2 つのプレイヤー A と B のゲームの利得表が表 1 で表される。ただし、A の戦略を S と T, B の戦略を U と V とし、(A の利得, B の利得) とする。このゲームを混合戦略まで拡張したとき、すべての Nash 均衡解を求めなさい。

A \ B	U	V
S	(2, 2)	(0, 1)
T	(1, 0)	(1, 1)

表 1